

公開情報資料

整理番号	2022.06-4	
研究課題名	日本脆弱性骨折ネットワーク (Fragility fracture network-Japan) への大腿近位部骨折患者の症例報告	
研究期間	倫理委員会承認日～終了時期未定	
研究目的	FFN-J では国際比較を念頭に置いて、FFN 共通項目を用いたデータベースを作製し、その結果に基づきガイドラインに反映させるための提言を行うこととしている。また、令和4年度診療報酬改定において大腿骨近位骨折「緊急整復固定加算及び緊急挿入歌さん」が施設基準に反映されたことにより、今後の費用対効果を評価することのツールとして重要な指標となる。	
研究方法	研究対象範囲	大腿骨近位骨折で当院を受診した 50 歳以上の患者さん
	利用する情報等	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院時からの周術期までの治療経過 (性別、受傷時年齢、住居種別、受傷前の活動性、術前全身状態、術前簡易認知テスト結果、骨折側、病的骨折有無、骨折タイプ、骨折直前の骨粗鬆症に対する薬物療法有無、受傷日時、入院日時、手術法、初回手術開始時刻、手術待機時間、麻酔種類、退院先種別、退院日時、入院中の生存状態、褥瘡有無、内科医関与有無、手術翌日の立位、入院期間)</li> <li>入院日から 30 日、120 日、365 日目の生存、活動性等の情報 (大腿骨関連再入院有無と再手術種別、生存状態、活動性、住居種別、骨粗鬆症に対する薬物療法有無)</li> </ul>
	利用方法	電子カルテ記載情報から収集
	他機関への提供	日本脆弱性骨折ネットワーク (FFN-J) データベースへ電子的に提供する
研究責任者	整形外科部長 小西池 泰三	
問合せ先	岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。	